

看板、電柱広告、のぼり旗など、街中（屋外）で見かける様々な広告の製作や設置・管理を行う。9月10日は屋外広告の日。



## ここに技あり!!

機械で印刷したかのような正確な文字・絵を手書きで表現する熟練された職人技と、手書きでは困難である複雑な構成のものを

コンピューターを駆使し、作成から印刷まで対応する多彩な技術力。伝統と最先端、両方の手法を用いて見る人に分かりやすい多種多様なデザインの広告を世に送り出します。

街中で見かける大型の広告看板、垂れ幕、ディスプレイ、ネオンサインなどの屋外広告物の製作・設置を行うのが屋外広告士の主な仕事です。

昔の手書きの看板から、近年はパソコンでデザインし、大型プリンターで出力したものが主流となっています。高所や狭い場所で、出力されたフィルムをスキージという道具を使い、しわなくきれいに貼

り合わせる技術に加え、デザイン力も必要です。基本的な作業はおおよそ1年程度で覚えられます。

屋外広告は法令や条例によって規制されている地域が多く、それらを習得し「屋外広告士」の資格を取るには実務経験3年が必要です。屋外広告士の資格があると、屋外広告業登録の際に必要な「業務主任者」となることができます。

## 仕事の魅力

お客様の要望は十人十色。臨機応変に満足した結果を残すためには、常に勉強し続ける必要があります。デザインから製作、設置など、様々な技術を身に付けるのは大変ですが、それが大きなやりがいにもつながります。

### ● 学ぶ

屋外広告会社などで技術を学ぶ

### ● 磨く

資格:屋外広告士(屋外広告業登録に必須の業務主任者となる)  
技能検定:広告美術仕上げ技能士1~3級

### ● 活かす

製作した看板広告は、店舗や会社、ビル、イベントステージ、車両など、人目に付く場所に設置され、多くの人の目に触れる。